



グランシップマガジン
[ジ-] Vol. 61
GRANSHIP magazine
winter 2013



series わが羅針 第61回

鈴木 雅明

SPECIAL-1

2013年しずおか

連詩の会

「水際をめぐる車輪」の巻

次世代を創る顔

イラストレーター・絵本作家 かとーゆーこ

coming soon II

静岡の魅力

第7回 フォトコンテスト入賞作品展

しずおかアーティスト・リレー ④

クリエイティブリメイクユニット 中村 聡子 伏見 聡子

coming soon I

ことばの世界

村松友視の文化漫遊④

SPECIAL-2

そして、つながる。—文化・劇場が持つチカラ—



絵本トイっしょ「ベリーくんのきのみやさん」
絵本とセットになったパズルおもちゃ。
今秋「ハニーくんのすてきないちにち」も発売された。



「するがラスク」
実家がパティスリー。
パッケージデザインを手掛けた。

イラストレーター・絵本作家

かとーゆーこ

心の宝箱をそつと開けながら、
これからも描き続けていきたい。



大好きだった一冊の絵本。どのページにもボールペンの落書きがある。主人公と一緒に冒険をする気持ちで、彼女は絵の中に自分と弟の姿を描き込んだ。「空想したり、お話を作るのが好きでした。他に神社や公園で拾った木の実でプレスレットを作ったり、葉っぱを集めてお菓子の缶に入れたり」。そんな宝箱の中身が、現在の創作のモチーフにもなっている。

彼女は好きなことを一生の仕事とするため、学生時代からホームページを立ち上げ、絵本を自主制作するなど、ひたすら発信し続けた。だから、「今求められ、絵を描くことが楽しくて仕方ない」という。時には他の素晴らしい作品に触れ、落ち込むこともあるが、「それも描くことでしか解決できないから手を動かし続けることを大切にしたいと思います」

かとーゆーこ

静岡県立清水南高校芸術科を経て、2007年女子美術大学芸術学部デザイン学科入学、今春、同大学同科修士課程卒業。2009年小学館おひさま絵本大賞で優秀賞、MOEイラスト・絵本大賞年間グランプリで編集部賞を受賞。また、矢祭町もったいない図書館手作り絵本コンクール最優秀賞を受賞し、絵本「シチューをもらったかえりみち」が書籍となる。絵本に「おべんとうばこのうた」、「ひつじのクルトンおはなし おにわでおちゃかい」などがある。アクリル絵の具を使った物語のある作風で、書籍や広告、玩具など多岐の分野で展開。1989年福島県生まれ、静岡県静岡市(旧清水市)育ち。

Contents

次代を創る顔⑥ 2
イラストレーター・絵本作家 かと一ゆーこ

しずおかアーティスト・リレー④ 3
クリエイティブリメイクユニット 中村聡子 伏見聡子

SPECIAL-1 特集 4

2013年しずおか 連詩の会 「水際をめぐる車輪」の巻

coming soon I 10

ことばの世界

series わが羅針 第61回 11

鈴木 雅明

「旅するようにオルガンを。」

SPECIAL-2 小特集 16

そして、つながる。—文化・劇場が持つチカラ—

coming soon II 20

静岡の魅力

第7回 フォトコンテスト入賞作品展

essay 村松友視の文化漫遊④ 22

親分から大俠、そして次郎長さん 画/風鈴丸

Love Granship その、愛すべき美空間 13 24

オーラを生む場所 「人の「気」を結ぶ。」

information a-go-go 26~30

- 公演情報
- Just Finished! / 「チョン・ミンファン指揮 フランス国立フィルハーモニー管弦楽団」
- プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room



表紙アート●望月 通陽 作品タイトル：『鶴のいる家族』
ゴルゴタへと十字架をになうキリストの頭上に降り立った
小鳥のヒワは茨の冠に触れ、一滴の血を流す。それがヒワの
頭頂に染まり、今もってヒワの頭には一点の赤があるのだ
という。かくして聖家族にいるヒワは受難の象徴となった。
この彫刻はたまたまヒワという小鳥に物語を借りたけれど、
むしろ家族という単位を造形してみたかった。

(2013年制作)



ORANDA-KAN

起立木工株式会社

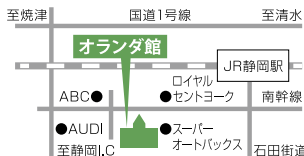
〒422-8561 静岡市駿河区津島町16-20

10:00~18:00 水曜定休

TEL.054-287-0500

http://kiritsu.eshizuoka.jp

https://www.facebook.com/orandakan



新築やリフォームを
ご予定のお客様必見です。
家族とともに歴史を刻む、
愛される家具がここにあります。



インテリアショップ「オランダ館」の家具は
飽きのこない上質な存在感が特徴的。
天然木の持つ風合いや暖かさを
生かした家具の数々は、
機能的で使い込むほどに愛着のわく逸品揃い。
あなただけのこだわりに合わせた
セミオーダーのご相談も承ります。

お好みに合ったあなただけの
こだわりの逸品に出会えます。

しずおか 43

アーティスト・リレー

伏見 中村
見 聡子
聡子

クリエイティブリメイクユニット

次回
新聞アート作家
マスダ
カルシ
さん



「bouquet」

忘れられてしまったり、使えなくなってしまったアクセサリ、洋服、
バッグたち。例えば時代遅れの洋服のボタンだったり、片方だけでなく
してしまったイヤリングだったり、華美なブローチのパーツだったり…。
捨てられることなく時を越えて、ここに存在し sotosatosa の
イメージーションを通じて、巡り会い、混ざり合う新しいカタチ。

sotosatosa ●2005年、リサイクルブティック・スノードールの伏見聡子が、革小物作家のNINOこと
中村聡子と出会い、6年の時を経てsotosatosa(サトササ)誕生。2011年秋、初の展示会開催に
より本格的な活動を開始。ただリメイクするだけでなく、「決めつけないことで生まれる新しい
価値」をテーマにしたクリエイションを目指しています。http://www.sotosatosa.asia



擬似家族的な雰囲気を感じながらの今年。
富士山を望む三保の松原にて連詩を巻く。

二〇一三年しずおか

連詩の会

「水際をめぐる車輪」の巻

村氏も「擬似家族的な雰囲気」が醸し出されて、それぞれが自分の役割を帯びながら進めていったような。今までにはない面白い展開になりました」と振り返った。

さらに二回目の参加で、海外でも活躍中の三角みづ紀氏、また、その三角氏がファンだという石田瑞穂氏は真言宗の僧侶でもあるなど、世代だけでなく、それぞれの活動の振れ幅も大きな五人による四〇編。高校生をはじめ、多くの連詩ファンが来場した発表会では、巻き上がったばかりの連詩の朗読と解説が行われた。

創作二日目。詩人たちは三保の松原から富士山の雄大な末広がりを望んだ。過去にも揃って登呂遺跡や美術館へと足をのびたことはあったが、訪れた先で連詩を巻いたのは今回が初めてとなる。結果、その地、その時の言葉が織り込まれるという連詩の醍醐味が増幅された形となった。今回、もう一つの特徴は、参加した詩人の世代差が大きかったということ。五度目のさばき手を担う野村喜和夫氏や初登場で映画監督でも知られる福岡健二氏は六十代。一方、同じく初登場の文月悠光氏は現役大学生だ。これについて福岡氏は、「野村さんがお父さんなら、私は居候のおじさん(笑)。

お父さんが連れて行けない、ちよつと怪しい場所に連れて行くのが役割と思って臨んだ」と語り、野

創作 二〇一三年十一月二十日(木) 二二三日(土) グランシップ十二階 特別室

二〇一三年十一月二十二日(金) 羽衣ホテル 西の間

発表 二〇一三年十一月二十四日(日) グランシップ十一階 会議ホール風

連

詩とは、連歌や連句の美学をベースにした創作現代詩で、本会を長年支えてきた大岡信氏は、その提唱者であり、第一人者。定まった形式はないが、本会では、五行と三行の詩を交互に繰り返すフォームをとっている。各詩にはさまざまな視点、モチーフが織り込まれ、別の詩人が後の詩を創作し繋いでいく。発表会では、作者による朗読のほか、繋がり解くための解説が行われ、以下は、作品全編とその解説の一部である。



創作：羽衣ホテル 西の間

胃の腑の海。岸辺の謎。

それは新しい神話の始まり。

【第一番～第五番の解説】

悠光… 連詩全体の始まりなので期待を込めて書きました。「泉」はスマホのイメージ。大学の講義にあったナルキッソス神話と、静岡新聞のコラムにあった「五人が新しい神話を書く…」からの連想です。抽象的な始まりになりました。

瑞穂… 抽象的な始まりを具体的な展開に。水のイメージでギリシャから現代へ「神話」をつなげながら、「連なり」を「連」に。ちよつと前に久能山東照宮から見た夕日がなぜかウイスキーになってしまいました。

みづ紀… 前の二つに情報が多いので一度立ち返るといふか…。全部で四〇編、二人八つの詩を書くという意識を消したかった。けれども私はまだ何もわかってないから「聞かないで」と。

健二… 前の詩に「なぜ?」「なにが?」「いつ?」に「誰」が抜けていたので「人々」に。日本語は主語が抜けても成り立つのが特徴であり、危うさでもあつて。主語が入れ替わると面白いかなと思つて。

喜和夫… ここは福岡さんの「移る」をいただいた言葉遊びですね。この語は含蓄の深い言葉で大岡信さんも日本文化の決定的なものを形成していると。「メキシコ原産」の「皇帝ダリア」は静岡新聞に掲載されていた写真から拝借しました。

一 手のひらに泉をひろげて、まるく抱く。

視線は水際をめぐり、わたしの瞳に再び帰る。

底を見抜いてはならない。

車輪の連なりがわたしたちの街を貫通していく。

光を運び去るために。

二 そしてすべては初めて起こる 旅発ちの神話のように

ウイスキーの金の漣が 胃の腑の海を吊り上げると

瞳に水がたまる 悲しいのではない ただ肉体が悲しんでいるだけだ

三 なぜ?

なにが?

いつ?

どこで腑に落ちるといふのか、

どう感じたかなんて聞かないで。

四 わかつたと思う。その瞬間に

大きくなろうとする岸辺の謎を

遠くから移ってきてはねかえす人々がいる。

五 移る映る

ウツルうつうつと

わが鬱の日へと

メキシコ原産のキク科の

晩秋の青空にこそふさわしい皇帝ダリアが

六 花のかんむり編む人は

雌しべを裂いて待ち暮らす。

種蒔く人が目を覚ますまで。

七 投げる、ことを教えてくれた

駿河の河よ

Pi-di-chopdi-水切り石に咲く無限無辺の種よ

言葉の幼年をまあるくにぎれ

水と空の切断は永遠につづく

八 戻ってきました 一瞬にして

丘があなたを生みました

あなたが丘に着水します

悠光

瑞穂

みづ紀

健二

喜和夫

悠光

瑞穂

みづ紀

「ネット世代の速度ある言葉が新鮮でした。その陰にさばき手としての苦労はありましたが。(笑)」



野村 喜和夫

のむらきわお

詩人。著作に詩集『特性のない陽のもとに』(歴程新鋭賞)、『風の配分』(高見順賞)、『ニューインスピレーション』(現代詩花椿賞)など。評論『移動と律動と眩暈と』および『萩原朔太郎』で(鮎川信夫賞)ほか、著訳書多数。英訳選詩集『Spectacle & Pigsty』では2012 Best Translated Book Award in Poetry (USA)受賞。戦後世代を代表する現代詩人の一人。1951年埼玉県生まれ。

「ひとに甘えるのが得意。でも、もらうばかりじゃ悪いから次はあげなくちゃ、と。そんな連詩が楽しいなと思えました。」



福間 健二

ふくまけんじ

詩人・映画監督。首都大学東京名誉教授。1960年代後半から文学と映画の両方で活動を始める。現代イギリス詩を研究し、映画批評と翻訳も行う。2011年、詩集『青い家』で萩原朔太郎賞と歴程賞を受賞。詩集に『結婚入門』『秋の理由』『侵入し、通過してゆく』、エッセイ集『詩は生きている』。映画監督作品に『急にたどりついてしまう』『岡山の娘』『わたしたちの夏』『あるいは佐々木ユキ』。1949年新潟県生まれ。

九 好きなだけ食べてよかった
でも、静かな丘

できることもできないこともある

わたしたちと

わたしたちから生まれるものを黙って見ている。

十 その 向こうは 誤謬の

父の 野 母の 遠さの

黄昏 だがまた うすうすと 始まる 交尾

十一

記憶のなかの美しい野に父と母を休ませて
ゆうぐれの東静岡駅から子どもたちは見る

黄色い灯りがならぶ人間社会

そんなに怖いことばかりじゃないから

クマの赤ちゃん、出ておいで!

十二

そうして膨張した西日。

はだかのひとが、
はだかにはなれないと言が残す。

十三

結局はインディゴ
焦がれるような ダークインディゴ

街はゆつたり蒸発して

ほくらは 星に映りだした星で

おかしなことばかり自問していた

十四

暗闇をすばやく嗅ぎわける。
行き止まりを夢見て、お前

胸ポケットに飛び出しナイフをあたためる。

十五

殺すつもりなんてなかったんだ
まだ残る血の匂ひ 流れ出た声の砂

ただ肉を貨幣のやうに交換できればと思つてゐた

飛びとどまる身柄 泥のうへの法医学

といふ悪夢からさめて さうだ今日は羽衣のやうな詩を書かう

十六

松林と砂浜とおおせいの人たち
殺人の夢を見た男も浮揚する娘たちもいて

新しい島が煙を噴きあげている。

十七

火山にたちかえるから。
まぶしくて 反射して

書物の私生児たちが

カメラを放りだす

大凶ほどの幸福

健二

喜和夫

健二

みつ紀

瑞穂

悠光

喜和夫

健二

みつ紀



創作の座を三保の松原に移して、
書物の私生児たちは何を語り継ぐのか。

【第十六番〜第二十番の解説】

健二…ここから三保ですね。朝のトップニュースは小笠原に新しい島が発見された。前の「法医学」から「殺人の夢」に。これは殺人者は野村さんで、「羽衣」から展開した「浮揚する娘」は女性二人。遠くに伊豆半島が見えてました。

みつ紀…私は鹿児島で桜島を見て育っていて、今回富士山を見て、どこに行っても「火山にたちかえる」のだと。好きな寺山修司さんの詩の中に「法医学」という文字があり、その作品のタイトルである「書物の私生児」を用いました。これは私たち五人のことです。
瑞穂…ホテルの石舞台に腰掛けて考えてみると、天女はもう降りていると。それで大地を這う獣にしようと。「私生児」を「母」で対比させ、「反射」から「光」に。「カメラ」と「神楽」で韻を踏みました。ちなみに英語で「母の舌」は母国語のことです。

悠光…三保の豊かな風景に溶け込んで書くのはなんて幸せだろうと思いました。ホテルの女将さんの「百年前の人たちがこの風景を守ってくれた」という言葉が印象的で「百年」と。最後の一行は夏目漱石の「夢十夜」の台詞から引用しました。

喜和夫…万葉集の山部赤人の富士山ゆかりの長歌から「語り継ぎ言い継いでいこう」と。「ミホ」とカタカナにしたのは、三保以外にも連想するミホがあるかなと。(笑)軽くつけた三行ですね。

十八 さまよう獣の犬歯のうえて風が光が針葉がダンスする

地表すれすれに母の舌をたらしめて 歩け 祈れ
歩くことは祈りだから 砂紋の神楽を抱いて

十九 流木の折れた翼で

砂浜から仮名を掘り起こす。
背にしなやかな衣がおりてくる。
振り向けば赤富士の根。

「百年はもう来ていたんだな」

二十 でもこれからも語り継ぎ言い継いでいこう

はるか赤人を想起しつつ
この名状しがたいミホのたわみを

二十一 と、父が言う

(あるいは父性が背をまるめて)
比喩ではなく 発してみる
きれいだった

きれいだ

二十二 子よ 現在とは未来へと折り畳まれたのち

ほどかれてゆく過去にすぎない だから脊椎を
沈黙はのぼりつづけるのだ いつまでもいつまでも

二十三 松風から帰る波に刺青された千年の薔薇

遠ざかる家族の世紀に
スロウボートはどんな磁針を持つのか
どの現在にも 青から紅へ

神なる山は自由に燃焼する

二十四 だめなんだよね。可憐な人の

瞼のなかに自転車で迷い込んで
あの山に見つめられているだけでは。

二十五 誘われるまま輪に加わって

焼けつく波で洗う喉骨。
わたし、また会いに生えてくるのよ。
たもとを振って合図する

海ほうずの恋人。

二十六 日々

あいししていると伝える
とばりの裾に触れた

瑞穂

悠光

喜和夫

みつ紀

喜和夫

瑞穂

健二

悠光

みつ紀

「ちよつと前、縁あつて静岡に。そのときに見た雄大な自然が身の内にあつて、それに助けられたような感じですね。」



石田 瑞穂

いしだ みずほ

詩人、真言宗智山派僧侶、早稲田大学・慶応義塾大学講師。第37回現代詩手帖賞受賞。詩作品や文芸評論を執筆するかたわら、詩誌「(f)orpoets」フォーポエッツ」創刊、「Edge in Cafe」(SKY Perfect TV!) イベントディレクターをつとめる。第1詩集に『片鱗篇』、第2詩集『まどろみの鳥』では第63回H氏賞受賞、共著『映画と詩の間』、ウェブマガジン『詩客』に参加。1973年埼玉県生まれ。

「この会が好きで、連詩が好きすぎるほど好きで、出番が終わるのが本当に淋しかったです。」



三角 みづ紀

みすみ みづき

詩人。大学在学中に現代詩手帖賞、中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。2008年より朗読パフォーマンスを始め、2012年、欧州文化首都マリボル「詩とワインの日々」に招待される。本年は第55回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館におけるプロジェクト「a poem written by 5 poets at once」に参加。坂本美雨らに歌詞を提供、リトアニア国際詩祭に招待されるなど、国境、ジャンルを越えて活動中。1981年鹿児島県生まれ。

「野村さんのダメ出しに心から感謝しています。最後の最後に最高の喜びを味わえましたから。」



文月 悠光

ふつき ゆみ

詩人。2010年、詩集『適切な世界の適切なならざる私』で中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を受賞。2013年、第2詩集『屋根よりも深々と』を刊行。雑誌や新聞などで詩、エッセイ、書評を発表のほか、第80回NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部課題曲「ここにいる」の作詞や、タイツブランドtokoneで詩が載るタイツを手がけるなど、紙媒体以外の活動も注目されている。早稲田大学教育学部に在学中。1991年北海道生まれ。

二十七

ホテルの高層階では
真夜中のりんご それは卵かもしれない
真夜中のきのこ それは人類かもしれない
とそこまで心が解き放たれたとき
不意に私の部屋を ノックする音 逸楽のおとずれ

喜和夫

二十八

もすもし いま しじん？
かぜのぼすと はいじゅ つながらなひ
こおる しじします かしこ やまねこ

瑞穂

二十九

でんばのかわりに風のささやきが
ネットワークをつくる枯草通信局
勤めはじめたばかりの彼女
ある日、詩を書きたいと隣の枝に言う。
だれにも抱きしめられない風の精になつて。

健二

三十

つかまえてあげる、崖の下で。
抱擁の証として、あなたに
黒いライ麦パンを握らせる。

悠光

三十一

鳥がおとずれてしまふ
声を聴く
みなが正しくわらつてくれますように
最高の終焉まで
ふるえながら あと幾日か

みつ紀

三十二

絶えそうな火に手をかざす。
岸辺にろうそくを集わせて
五線譜の名もない橋をあぶり出す。

悠光

三十三

その手をつかみ、あなたやわたしという人間の
弾き方がわからなくなつて
目をつむつたさびしさの先にひろがる
幸福な空間。そこに架けられた橋を
ラッキー・スペースブリッジと名づける。

健二

三十四

草の豎琴を奏でながら
心には輪郭もなければ 行き止まりもない
虹でできた国境を渡つたら 幸せになれるか？

瑞穂

三十五

出発は馬頭 酔いどれの馬頭
馬の頭のかたちをした雲とともに
きみの肩をかわし 青い絹の調べを抜け
移動天幕の幾何の美しさも超えて
ああ われわれの行為はただ出発においてしか輝かない

喜和夫



発表：グランシップ 会議ホール・風



語りの舞は最終コーダへ。
ためらいなく去る無音の人々。

【第三十六番〜第四十の解説】

みつ紀…「かほそいひと」はグランシップの担当の人。やさしい人だけど、最後は「ためらいなく」去っていくだろうと。これで終わるのは淋しいけど、私もそうしようと。この潔さのせいで文月さんが苦勞したんですね。

悠光…短くシンプルな言葉をどうつなげようかと悩みました。私たちが踊る「語りの舞」は、「からだ」の中から独り言のように「舌」に伝わっていくものだ。その声が鼓膜の「踏み切り板」に響き、他者の身体へ飛躍してくれたらと考えました。

健二…例によつて創作のために出歩くとすっかり暗くなつていて、声と音だけが頼り。東京から歩いてきたような気分になつていたし、ちょうどロックを聴いていたので「マイル」になりました（笑）。

瑞穂…文月さんも三角さんも役目を終えて「無音の娘」。最終コーダに入ってきたのでトーンを下げる気持ちで、一行ごとに頭を下げる工夫をしてみました。

喜和夫…石田さんの四行、五行で着地したなど。ここは余韻にすべく我々の名前を入れ、言葉遊びで締めくくりました。

三十六 そう、感嘆が射す
かほそいひとは
ためらいなく舞う

三十七 それは語りの舞。
からだじゅうに刺繍され、
気まぐれに舌へと達する。
すかさず受話器を引き寄せて
きみの鼓膜を踏み切り板に。

三十八

東京から西に百マイル
耳と距離だけになった夜を
だれの体の音がさまよっているのか。
そして 闇の水際の先に 嵐の静かな虹彩が
宙を漂っている
ああアイリス 奇妙にまぶしい無音の娘よ
言葉の崖 声の海原を
少しずつはがして 光の自伝が戻ってくる

三十九

四十

陸を行くこの静謐の船にも
刻がわきたち 喜びの潮がみちてきたようだ
ふくらかに瑞みづしく また悠々と

創作

二〇三年十二月二十二日（木）
於 グランシップ十二階 特別室
二〇三年十二月二十二日（金）
羽衣ホテル 西の間
二〇三年十二月二十三日（土）
グランシップ十二階 特別室

参加者 詩人 文月 悠光

石田 瑞穂

三角みつ紀

福岡 健二

野村喜和夫

発表 二〇三年十二月二十四日（日）
於 グランシップ十二階 会議ホール・風

みつ紀

悠光

健二

瑞穂

喜和夫

見

と

さ

る

ば

わ

聞

る

し

大岡 信ことば館 連携事業

「ことばの世界」

2/16日～3/2日

10:00～17:00 6階 展示ギャラリー〈入場無料〉

見て、聞いて、さわって。
ことばと遊ぼう、楽しもう。

ことばは不思議だ。人を喜ばせたり、笑わせたり、時には人を泣かせたり。同じ文字の連なりも、それを話す人の声や、聞く人の気持ちによって、大きく変わる。

今回、三島市にある「大岡信ことば館」とともに開催する「ことばの世界」は、こんなことばにスポットをあて、見たり、聞いたり、さわったりして、ことばのおもしろさや奥深さを感じて楽しむことのできる遊び心満載、体感型の展示会だ。

会場では、三島市出身の詩人大岡信の名編「さわる」をはじめとした詩を映像や音で楽しむことができる。たとえば、こんな演出だ。長い筒のふたを開けてみると、なるほどその詩にふさわしい声色、たとえば能楽師だったり声優だったり、いろいろな分野で活躍する「ことば」のプロの声が筒の奥底から聞こえてくる。この詩の朗読はどんな職業の人が合う？年代は？性別は？いろいろな想像しながら開けてみれば楽しみ倍増。

他にも、床に映ったことばが生きもののように動き出したり、あっと驚くような仕掛けを楽しむことができる。大きな壁には、大岡信監修のもと

過去に紡ぎ出された「しずおか連詩の会」の作品（墨書）も展示する予定だ。映像制作をはじめ、会場の空間構成は、「大岡信ことば館」館長で造形家の岩本圭司が担当する。

ここは大人も子どもも楽しめることばの世界。見て、聞いて、さわって、心ゆくまでことばと遊んでほしい。ぜひご家族連れでどうぞ。



※展示イメージ

鈴木

雅明

旅するようにオルガンを。

「結局、オルガンの面白さは、”持つて歩けない”ということ。王様でも誰でもそこへ行くしかない。言葉や食べ物のように、土地土地でオルガンも違うんですよ。旅をするようにその土地のオルガンを楽しむというのが正しいオルガンの鑑賞の仕方かもしれません。」

礼拝のための楽器。

知的で穏やかな佇まいからは想像できないほどの速い語り口。油断していると話は深いところに及んでいる。一方、バッハといえば、音楽室に掛かる肖像画の尊大な雰囲気から、重厚で荘厳な音楽ばかりを想像しがちだが、氏によると即興的でテンポの速い作品も多いという。思い込みは捨てるが勝ち。バッハも、この度の大曲〈マタイ受難曲〉も、自分の想像を超えたところにこそ、刺激の一滴が潜んでいるかもしれないのだ。

——オルガンと聞くと、パイプオルガンよりも先に、教室の隅にあった足踏み式のオルガンを想起される方も多いと思いますが、「机にもなるし、蓋を開ければオルガンに

なるデスク・オルガンですね。NHKホールにアジア1という巨大なパイプオルガンが入るまでは、僕だつてちっちゃなオルガンのイメージがなかった。おかげでオルガンのイメージが大きく変わったことは確かです。それとは別に僕は十二、三歳の頃から教会でオルガンを弾くようになっていたんです。ただ、初めは一番下にペダル楽譜がある三段楽譜も知りませんでした。」

——いつ頃からオルガニストになる夢を抱いていらしたのですか。

「どうでしょうね。ただ、原田 一郎さんの〈対話 オルガンへの巡礼〉という縦書きの本などは、高校生の頃、何十回読んだかわかりません。それでベルギー人の神父さんに「オルガンをやりたい」と言ったら、「日本にオルガンが何台あるか、知っていますか」と言われて。つまり日本では無理だろうと。確かにパイプオルガンはまだ余りない時代で、初めて東京に出てきたとき、東京中のパイプオルガンを見学して回ったことを今でもよく覚えています。日本橋の三越にもあつたんだけど、店員でさえ認識していなかったくらい。大学院でオルガン科を専攻した頃はまだマイナーでしたね。あの頃はNHKの録音によく駆り出されましたよ。」

——その後の留学先であるオランダは、世界的なオルガン王国なんですね。

「オランダはごく一部しか激しい戦災に遭っていないんですよ。だから、古いものがたくさん残っている。しかも不思議なことにオランダでは19世紀に音楽が栄えていな

いんです。スッポリ抜けている。オペラハウスも20世紀までなかった。僕はロックの音楽がやりたかったし、チェンバロもやりたかったわけで、そういう意味では17、18世紀の伝統がそのまま残っているオランダはびつたりだったわけです。今でも北ドイツからオランダにかけては歴史的なオルガンが最も高品質で残っている地域なんですけど、その修復の仕方も17、18世紀の音に戻そうという修復なんですね。あのあたりはハンザ同盟の地域でもあり、かつて資金も潤沢だったということもありますが。人口五〇〇人ほどの村の教会に巨大で立派なオルガンがあつたりして驚きますよ。」

——その場所で、そのオルガンを弾く感動というのはやはり違いますか。

「それはもう素晴らしいですよ。結局、オルガンの面白さは「持つて歩けない」ということなんです。つまり王様でも誰でもそこへ行くしかない。しかも土地土地で言葉や食べ物、ワインの味が違うように、オルガンも違うんですよ。ヨーロッパでは政治的な国境と文化的な国境は必ずしも一致してないけど、その文化的な国境に沿って、オルガンは発展しているんですね。旅をするようにその土地のオルガンを楽しむというのが、正しいオルガンの鑑賞の仕方かもしれません。それとは別にオルガンという楽器は、ヴァイオリンやピアノのように個人の表現のためのものではなくて、教会という神に奉仕する場所の、主に礼拝のための楽器ですからね。オル

ガン音楽にしても、ホールのためではなく、教会のために書かれたもので、極めてパブリックなものなんです。」

——言い換えると、オルガンとオルガニストも一期一会である？」

「その通りです。だから、オルガニストに求められる能力は、その場でオルガンを知り、ただちに音色をつくることができる能力とでも言いましょうか。それで弾き終わったら次へ」と、まさにそういう生活ですね。



「バッハからの贈りもの」
バッハ音楽の魅力と演奏の極意を氏へのインタビュー形式で綴った一冊。



「わが魂の安息、おおバッハよ!」
BCJの活動の軌跡とともに、バッハの演奏家であり、研究者である氏の仕事の全容がうかがい知れる。第16回辻荘一賞受賞。

そういうわけでこれまでいろんなオルガンに出会ってきましたが、印象に残っているのは、オランダの北の一番端にフローニンゲンという町のマルテイーニ教会のオルガンかな。バッハを弾くなら一番だと僕は思っています。一本一本の笛が本当に素晴らしい音をしていてね。どういう絵を描き、どういう色合いにするか、そのあたりの決心が非常に難しいし、面白い。それは日本においてはわからないことですよ。」

自然界の美を音楽化したバッハ。

——オルガニストとして活躍される一方、昨年バッハ・メダルを受章されるほどの世界的なバッハの第一人者でいらっしゃいますが、バッハも名オルガニストだったそうですね。

「バッハは、死ぬ間際までオルガンの権威として尊敬されていた人なんです。新しいオルガンができると、契約書通りに出来上がっているかどうか、いいオルガンかどうかを検査して証明書を作る、そういう仕事を依頼されてもいたんです。その折、何時間も即興演奏するんですけど、それが演奏会になっていてね。そういう即興的な自分の演奏を残したくて、彼は一生懸命楽譜を書いたわけです。バッハの作品の中に、実はこれは即興演奏のものだという例はたくさんあるんですよ。」

——バッハは、どんな人だったのでしょうか。

「頑固で細部にとてもこだわっていた人だから、会っても楽しいかどうか……(笑)。ただ、資料からわかるのは、非常に意志強固で、曲の書き方、音楽化へのアプローチが若い頃から死ぬまで首尾一貫してる。楽譜の書き方や筆跡は変わっていくけれども、最晩年の作品に若い時のものをあえて使ったり。ある意志をもって神経を注いだものは、本当に大事にとっておく。そこが非常に面白いですね。細かいところでは時代によって変わっているんだけど、大まかにみると、バッハ

【すずき まさあき】

指揮者、オルガン奏者、チェンバロ奏者。東京芸術大学作曲科およびオルガン科を経て、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にてチェンバロとオルガンをトーン・コブマン、ピート・ケーに師事。東京芸術大学音楽科を設立し、2010年まで20年にわたり教鞭を執る。一方、1990年〈バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ)〉を創設。以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米のホール、音楽祭で演奏し、高い評価を得ている。近年は海外のバロック・アンサンブルにも定期的に客演。モダン・オーケストラとの共演ではハイドン、モーツァルト、メンデルスゾーン、マーラー、ストラヴィンスキーなど多彩なレパートリーを披露。2011年受難週にはボストン交響楽団30年ぶりの「ヨハネ受難曲」を指揮し、「21世紀のバロック音楽の理想的なアプローチ」と絶賛された。BISレーベル「バッハ：チェンバロ作品全曲シリーズ」の録音が進行中。BCJとの「バッハ：教会カンタータ・シリーズ」は、2013年2月に全曲演奏・録音が完結し、世界的偉業が大きな話題となる。受賞歴も多く、近年では平成20年度芸術選奨文部科学大臣賞、2011年プレーメン音楽祭賞、平成23年紫綬褒章。2012年6月にはライブ・ツィヒ市よりバッハの演奏に貢献した世界的音楽家に贈られる「バッハ・メダル」を受賞。イエール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭女子学院大学客員教授。1954年兵庫県神戸市生まれ。

氏が率いるバッハ・コレギウム・ジャパンによる「バッハ：教会カンタータ・シリーズ」は、2013年全曲演奏・録音を果たした。「僕としてはやっぱり宗教音楽に興味があるので、そこを軸とした音楽をテーマに活動を続けていきたいと思っています。」

という人はどこを切ってもバッハなんです。」
—— 著書の中で、バッハの音楽は自然の音楽であるとおっしゃっていましたが。

「バッハはニュートンのような人だと言われたことがあるんですよ。どういうことかという、ニュートンは何かを発明したわけじゃなくて、自然界にある法則を発見した人でしょう。バッハも同じで、自然界に眠っている、我々が普段見たり聴いたりできない美の法則を聴こえるように音楽化してくれた人だから。たとえば協和音の美しさは、自然界にもともとあったもので、バッハが発見したものでないけど、そういう美しさを僕らの前に明らかにしてくれたという意味で、そう表現したんだと思います。」

—— さて、四月にはいよいよ〈マタイ受難曲〉でグランシップにご登場ですが、バッハにとってこの作品がどのようなものであるか、教えていただけますか。

「受難曲とは何かというと、キリスト教のための礼拝、それも日曜日の礼拝じゃなくて金曜日の礼拝、いわゆるグッド・フライデーのために書かれた曲なんです。この世には苦しみがたくさんあるけれど、死んだ後に永遠の命と天国がある。だから、人はこの世を一生懸命生きているのだというメッセージを、毎年イエスの十字架の物語によって確認し続けるわけですが、それを聖書の朗読や牧師の聖教の代わりに音楽で確認しようというのがこの曲なんです。だから、テキストはあくまでも聖書のもの。〈マタイによる福音書〉の二十六章、二十七章

は全部残らず読まれるわけです。つまり決して個人的な表現意欲を全うするためものではなかった。にも関わらず、そこには圧倒的なバッハの表現力、この世の理解がある、というところが面白い。バッハは生きている間ずっと毎年、誰かの受難曲を演奏してきて、死や罪への思い、十字架への思いは日常の中にあつた。だからそのものですね。」
—— 当時としては、とても斬新な作品だったのではないかと思います。

「そうですね。たとえば聖書の言葉だけじゃなくて、讃美歌を入れたり、アリアを入れたりという、三重の構造になっていて、それは斬新だったと思います。教会では毎週日曜日に罪の話、天国の話など、いろんな話がされていて、バッハはその日のテーマに合わせた聖書の歌詞を選んでカンタータという音楽を書いていきました。その延長線上で一年で最も重要な受難週の金曜日に向けて大規模なものを書いたら、それが三時間にも及ぶこの曲になったというわけです。」
—— 震災など、胸を痛めることの多い時代、この大曲を宗教を跨いででも聴くところにまた意味があるのではないかと感じます。
「そう思います。僕たちは〈マタイ受難曲〉を静岡児童合唱団と演奏してCD録音もしていて、実は静岡とは縁があるんですよ。ただ、その時、静岡では演奏してないので、ぜひ、今回聴きに来てほしいですね。毎年演奏している僕らでも訴えかけられるものが毎回違うので、僕ら自身もそれを楽しみにしたいと思っています。」

4/12^① 12/22(日)チケット発売

バッハ・コレギウム・ジャパン

J.S.バッハ《マタイ受難曲》

BWV 244

15:00開演 グランシップ 中ホール・大地
全席指定／S席 7,000円 A席 6,000円
B席 5,000円 こども・学生 1,000円

指揮：鈴木雅明 合唱&管弦楽：バッハ・コレギウム・ジャパン
ソプラノ：ハンナ・モリソン アルト：クリント・ファン・デア・リンデ
テノール/エヴァンゲリスト(福音史家)：ゲルト・テュルク
バス/イエス：ベンジャミン・ベヴァン

→P16～参照

〈マタイ受難曲〉プレレクチャー

2/25^② 19:00開演
地下リハーサル室 全席自由／700円
出演：鈴木雅明(解説・チエンバロ)他



あなたの暮らしのいつもそばに。

貯金もローンもJAバンク。



 **JAバンク 静岡**
県下JA・静岡県信連

<http://www.jabank-shizuoka.gr.jp> または、インターネットで「JAバンク静岡」を検索!

JAバンク静岡

検索



©ARITA Tsutomu

そして、つながる。

2011年3月11日午後2時46分。

あの日、あの時から、どれだけの問いをそれぞれの胸に投げかけたことだろう。

自分にできることは何か。考えるべきことは何か。

生きるとは何か。豊かさとは何か。

そして、グランシップは今なお問い続けている。

文化にそのチカラはあるか。劇場として果たせることは何かと。

東日本大震災から3年という時間の中、

さまざまな問いを共有したあなたと再び一緒に考えたい2014年の春。

ここに紹介する企画から、次なるアクションへのヒントが見出せたら本望だ。

文化・劇場が持つチカラ

写真

そして、つながる。
1

大震災から3年。
今、あらためて伝えることに意味がある。



©UEDA Satoshi

【1/19 チケット発売】

ぼくたちの3年 ～写真展「生きる」から見えるもの～

3/8[土]～30[日] 6階 展示ギャラリー

●10:00～17:00(最終入場 16:30) ●入場料 500円

震災後、現地入りするフォト・ジャーナリストたちに一部批判の声もあったが、あの禍難を風化させることなく、今再び人々の目と心に喚起させることができるのは、紛れもなく写真のチカラだ。

写真展「生きる」は、日本写真家協会を中心に、被災地の写真家たちに呼びかけ、現地で撮影された写真によって構成されたものである。直後の様子とともに、震災前の風光明媚で豊かな姿、その後の立て直しに向けた現況がそこに写し出されている。

また、被災地の子どもたちが撮影した写真、さらには写真家今村拓馬による陸前高田の子どもたちの写真なども展示され、陸前高田市内の津波到達ラインに桜を植樹する「桜ライン311」の活動の様子も紹介される。

これは遠い国の話ではなく、日本のドキュメンタリーだ。そこにある命を思いながら、胸が苦しくなったり、希望の光を見たり。同じ時代を生きる日本人として、あなたは何を思うだろうか。



©NOMACHI Kazuyoshi



©Saijyo Kakichi

爛漫の桜舞台に
鎮魂の思いを重ねて。

能・神楽

そして、つながる。
4



昨年の様子

第27回地域文化活動賞記念フォーラム 「文化・劇場が持つチカラを考える」

3/9[日] 11階 会議ホール・風

●14:00開演 ●入場料 500円

●パネリスト／菊川 稯(一般社団法人エル・システムジャパン代表理事)
長野隆人(いわき芸術交流館アリオス広報グループチーフ)
角替弘志(第27回地域文化活動賞選考委員長)ほか

震災時・震災後における文化・芸術のチカラを問うとともに、
文化施設のあり方や展望を考えるフォーラム。基調講演のほか、
トークセッションや交流会を予定している。



撮影：前島吉裕

[12/22 チケット発売]

「さくら能」

3/16[日] 中ホール・大地

●14:00開演 ●一般 3,500円 こども・学生 1,000円

●出演／観世流能楽師、黒森神楽(岩手県宮古市)

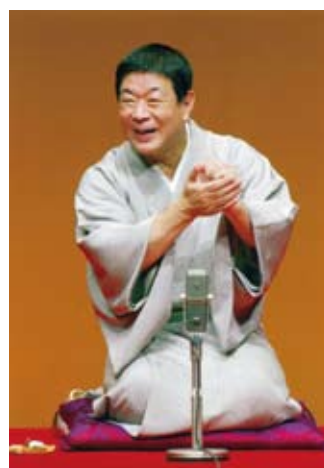
能:「二人静」ほか

静御前の霊と、その霊が取り憑いた菜摘女が同じ桜の装束で
幻想的に相舞う「二人静」。桜の開花に明るい希望を見いだ
そうとする日本人の心模様。幽玄の世界に鎮魂の思いを重ねて
おとどけする。また、江戸時代から岩手県に伝わる伝統芸能、
黒森神楽との共演も一興。

話芸

そして、つながる。
3

震災直後の舞台から
3年ぶりにさん喬登場。



[12/22 チケット発売]

グランシップ寄席 ― 語・縁 ―

3/14[金] 6階 交流ホール

●18:30開演 ●一般 3,500円 こども・学生 1,000円

●出演／柳家さん喬(落語家)、工藤さのみ(語り部)

柳家さん喬といえば、震災4日後の「グランシップ名人会」に登場。早々に完売
したチケットだったが、地震の影響で来場が叶わない人もあり、おまけにさん喬
自身が帰途の折、余震のため新幹線がストップするというアクシデントにも見舞
われた。そんな師匠が3年ぶりにグランシップの高座に上がり、艶のある声と
しなやかな語りぶりで魅了する。また、岩手県遠野市の語り部が、やさしさと
懐かしさいっぱい雰囲気の中、東北の昔話を聞かせてくれる。

そして、つながる。
2

フォーラム

例えば、世界的な指揮者である大植
英次さんの呼びかけに応えるように、急ご
しらえで「東日本大震災からの復興支援
コンサート」を開催したのが震災の翌月の
ことでした。翌年も気持ちをなげけるべく
同じメンバーで「絆コンサート」を開催。
募金や寄付など、静岡県文化財団として
何ができるかを考え、その時でいいことに
取り組んできた3年間でした。

大規模改修を機に
「つながる」軸となるグランシップへ。
(公財)静岡県文化財団次長兼企画制作課長
鈴木基規

浜松スペース ハンタークラブ

遙かな宇宙に胸躍らせる人々。
天上の謎に思いを馳せ、地上で解く。

江戸時代、浜松市内に落下したとされる（笹ヶ瀬隕石）は、静岡県の天然記念物だが、この落下年代について40数年をかけて調査し、落下日を特定したのが本クラブである。国立科学博物館に申請し、異例のデータ変更が行われたことが昨春話題となった。

驚きは二つある。まず、300年前の隕石の来歴も緻密な調査によって掴めるのだということ。そして、それが愛好家に

よって成し遂げられたということだ。

日頃、私たちは宇宙に浮かぶ星の一つに住んでいることを忘れがちである。見たいと思っただけで目を近づけても見えないものが、視線を遠く遙かに投げることによって存在が明らかにになる、という不思議……。クラブのホームページには、彗星・新星発見や流星観測の記録をはじめ、（月）という地名に関する記事など、活動は天上から地上にまで及んでいる。そこからはメンバー間のあたたかなやりとりも垣間見られ、自称「小さな天文同好会」の魅力が伝わってくる。



はままつすぺーすはんたーくらぶ

- 団体名／浜松スペースハンタークラブ
- ジャンル／学術
- 会員数／19名
- 設立／1969年
- 代表者／小和田 稔
- 活動拠点／浜松市
- 活動エリア／静岡県西部地区
- 活動実績ほか／彗星・新星の発見、小惑星・掩蔽・流星ほか天体観測、天体写真撮影、天文古記録の収集・検証ほか。定例会（年4回）。第12回地域文化活動賞受賞。

静岡県内の文化活動に関する様々な情報を伝えるホームページ！ **公開中！**
静岡県文化情報総合サイト しずおかの文化情報 <http://www.shiz-bunka.com>



©RonaldKnapp.jpg

一生に一度は聴きたい名曲。
そのチャンスがやってくる。

音楽

5
そして、つながる。

【12/22 チケット発売】

バッハ・コレギウム・ジャパン

「J.S.バッハ《マタイ受難曲》BWV 244」

4/12[土] 中ホール・大地

●15:00開演 ●S席 7,000円 A席 6,000円 B席 5,000円
こども・学生 1,000円

- 指揮／鈴木雅明
- 合唱&管弦楽／バッハ・コレギウム・ジャパン

ソプラノ：ハンナ・モリソン

アルト：クリント・ファン・デア・リンデ

テノール／エヴァンゲリスト（福音史家）：ゲルト・テュルク

バス／イエス：ベンジャミン・ベヴァン

静岡児童合唱団

人間・イエス・キリストの壮大なドラマを描いた「マタイ受難曲」。3時間に及ぶ大曲だが、一生に一度は聴いておきたい作品の一つだ。苦しみの多いこの世にあっても、なぜ、人は生きられるのか…。

宗教を超えて聴いてほしい名曲であり、バッハ演奏で世界的に注目を浴びているバッハ・コレギウム・ジャパンの演奏となれば、必聴だ。

それは同時に人や心をつなげていく大切さを知る3年間でありました。2014年5月からグランシップは大規模改修に入りますが、私たちはこれを単なるハードの整備に終わらせることなく、文化芸術鑑賞の場として、さらに県民の文化活動を支えていく場として、グランシップのあり方を問い直す機会にしたいと考えています。ここが県民とつながる場になり、県民同士がつながる場になり、さらにはグランシップ以外で行われる文化活動とつながるために、文化芸術がそして文化施設が何ができるか、みなさんと一緒に考えていきます。



最優秀賞

静岡の魅力「竜神の舞」 薩川高宏(静岡県)

入賞作品、決定

「一瞬の美」を切りとる。

以前からずっと、カメラのシャッターは押すものなのに、なぜシャッターを切ると言うのだろうかと思っていた。先日「それは風景を切りとるからじゃない」とカメラマンが呟いた。なるほど！美しい風景に美しい人、そして美しいドラマ：シャッターを切るとは、まさに一瞬を切りとること。これこそカメラの醍醐味なのだろう。

静岡の魅力「フォトコンテスト」も、今回で7回目を迎えた。テーマは、前回同様、静岡県内外で撮影した静岡の魅力を伝える風景、名所、自然、祭りなどの「静岡の魅力部門」と、写真表現の可能性に挑戦した「自由・アート部門」の2つ。

今年も全国から1,000点を超える作品が集まり、審査委員長を務める写真家・大竹省二氏(旧大須賀町出身)をはじめ、審査員を唸らせる珠玉の入選作品が決定した。世界文化遺産になった富士山をモチーフにした作品がやはり多かったが、静岡県は全国の写真家を魅了する被写体の宝庫とあって力作揃いであった。

一瞬とは人がまばたきをする短い時間。1回のまばたきの速さは平均で100〜150ミリ秒だそうだが、どの作品も一瞬をとらえた美しさの中に、感動や驚きが凝縮されている。入選作品が一堂に集まる新春恒例「入賞作品展」。ぜひ、まばたきせずにじっくりとご覧いただきたいものだ。

審査委員

- 大竹 省二(写真家)
- 沼田 早苗(写真家)
- 山本 晋也(映画監督)
- 天野 一(静岡県文化芸術振興議員連盟会長)
- 田村 孝子(静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ館長)
- 蜂須賀秀紀(写真家)
- 織作 峰子(写真家)
- 徳川 慶朝(写真家)

静岡の魅力 第7回フォトコンテスト





優秀賞
静岡の魅力「ボート競技」
松島真知子(静岡県)



優秀賞
自由・アート「ハブニング」
芥川宏子(静岡県)



部門大賞 自由・アート「雲と水の印象」
柳澤勝彦(長野県)



部門大賞 静岡の魅力「富士を背に」
村上則子(静岡県)



特選
自由・アート「火渡り」
小林伸子(奈良県)



特選
自由・アート「ネイル」
福島耕司(静岡県)



特選
静岡の魅力「初子祝い」
望月邦子(静岡県)



特選
静岡の魅力「待っていた 雪の日」
山本田鶴子(静岡県)



ニコン賞
静岡の魅力「老友」
駒形多木次(静岡県)



キャンパ賞
静岡の魅力「方向転換」
松下英志(静岡県)



エプソン賞
自由・アート「愛に包まれて」
水谷サコ(静岡県)



アサヒカメラ賞
自由・アート「走れ走れ」
鈴木邦明(静岡県)



富士フィルム賞
静岡の魅力「夕照の頃」
鈴木美喜夫(静岡県)



フォトコンライフ賞
静岡の魅力「春祭りの無人駅」
杉浦芳男(静岡県)



フォトコン賞
自由・アート「街角」
浅原広一(愛知県)



日本カメラ賞
自由・アート「高原」
中澤 仁(愛知県)

静岡の魅力 第7回フォトコンテスト

入賞作品展 **【入場無料】**

2014.1/18(土)～2/2(日)

10:00～17:00(入場は16:30まで)

6階・展示ギャラリー 展示総数：約100点



グランシップ学生賞(学生最優秀賞)
自由・アート「Sun Shower」
大越あすか(静岡県)



ペンタックス賞
静岡の魅力「真夜中のドラマ」
衛藤一男(静岡県)

近ごろ、清水次郎長の晩年がやけに気になってきた。清水の衆から“次郎長さん”と親われ、子供に与える飴を袂たもとに入れて、ぶらりぶらりと巴川べりあたりを歩いていたという。ごく普通の老人となって故郷で生きる、等身大の次郎長が、さまざまな次郎長像のなかで、もつともばやけているという気がするからだ。

次郎長についての“ものがたり”は、数多く書かれている。一九〇七年（明治40）に、東京・両国の福本亭で講釈師の神田伯山によつて、「清水次郎長伝」の初口演が行われた。これが大好評となり、一九二七年にラジオで放送され、次郎長ものがたり全国区進出の魁きまけとなった。さらにこの次郎長ブームが、浪曲師・二代目広沢虎造によつて最高潮に達する。一九三五年（昭和10）から太平洋戦争をまたいで一九五五年（昭和30）代まで、虎造の小粋な節廻しと絶妙の語りによつて、「清水次郎長伝」は一世を風靡したのだ。一九四〇年生まれの子などには、その次郎長ブーム最盛期に成長した少年だったということになる。小説のジャンルにも次郎長は登場し、子母沢寛の『駿河遊俠伝』は取材をもとにして産経新聞に連載され人気を

博した。これが一九六二年（昭和37）から一年半くらいのことだったのだから、次郎長ものがたりの寿命の長さには驚嘆せざるを得ない。

実は、私の祖父である作家・村松梢風も一九五一年

（昭和26）から

三年ほどのあい

だに、当時の梅

蔭寺（次郎長の

菩提寺）和尚からの取材をこなしたあげくに『正伝清水の次郎長』を執筆している。これは、私が祖母とともに清水に住んでいる、小学校四年生から六年生あたりの期間だった。

そして、これらの次郎長ものがたりは、すべて天田五郎（のちの愚庵）が、一八七八年（明治11）から三年ほどをかけて書いた『東海遊俠伝』をもとにして、それを増幅、発展させたものと言つてよい。

その内容は、当時五十九歳であった次郎長の記憶の聞き書きをもとにしたもので、講談や浪曲とかさなるところもある。次郎長の売り出しから黒駒勝蔵との確執のあぐくの荒神山の喧嘩、それに明治の治世となったあとに咸臨丸死者を葬る“壮士の墓”をつ

親分から大俠、そして次郎長さん

くるあたりまでの次郎長伝だ。天田五郎は、次郎長の俠客としての人格を評価し、のちにその養子となるくらいの間柄であるから、いささか偉人伝的趣きがないでもない。

講談や浪曲は、おおむね荒神山の喧嘩で幕を閉じており、天田五郎はその道筋をさらに先へのぼし、東海の大俠たる次郎長像をつくりあげている。そこを源とする小説も同じような時間のベクトルをとり、次郎長への評価の大前提としている。並の博徒とはちがう風格ある次郎長像だ。

そして今、その後に清水みなとの発展を打ちながめ、料亭「末広」を開業しつつ、清水の衆に親しまれた、最晩年の隠居状態の“次郎長さん”に、私は妙にそそられているのである。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。



感謝の60周年



これからもつづく、ありがとうへ。

このたび、おかげさまをもちまして
私たちクーポールは、60周年を迎えることとなりました。

これはひとえに地元の皆様方の
ひとかたならぬお力添えとご愛顧の賜物であると
誠にありがたく深く感謝申し上げます。



[新年会・謝恩会・歓送迎会ご予約承り中]



和食・洋食・中華・寿司付のご好評プラン

オードブルパーティー ビオラ お一人様価格(税・サ込)
オードブル料理 全9品 + フリードリンク10種 120分付 **6,000円**



折衷会席 献招
お一人様価格(税・サ別) **4,500円**

60周年記念特典プレゼント!!

オードブルパーティープラン

[フリードリンク付] 6,000円(税・サ込)以上、

和会席 折衷会席 4,000円(税・サ別)以上

+フリードリンク付を

ご利用のお客さまに下記の中から
いずれかおひとつをプレゼントいたします。



和食・洋食・中華・寿司が楽しめる お一人様価格(税・サ込)
オードブルパーティー 5,500円より
フリードリンク付・120分飲み放題! ※5,500円コースは日～水曜日限定。

～個室で宴～ 完全個室だから、どんなシーンにも対応します。



3F 弥生



4F 若松



5F 駿河



7F 月華



8F スカイラウンジ

クーポール
— COUPOLE —

お気軽にご相談ください。(受付時間 9:00～21:00)

TEL.054-254-0251

〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町2-2

[FAX] 054-251-6233 [E-mail] info@coupole.co.jp

[URL] <http://www.coupole.co.jp/>

クーポール 検索

JR静岡駅より徒歩5分・紺屋町名店街通り静岡/バルコ斜め前 地下道K7出入口上る

クーポールグループ クーポール / セント・オルコット ガーデン / プライダルパーク



3階⇄6階エスカレーター



ロビー



Love Granship 13

その、愛すべき美空間



エントランス外



大ホール・海



中ホール・大地



展望ロビー

人の「気」を結ぶ。

オーラを生む場所

パワースポットが人気だ。「自然の気」や神社などの「由縁の気」を求めて、皆こぞ出て出掛けていく。しかし、「気」は、神聖な静けさの中ばかり漂っているわけじゃない。たとえば政治家やアイドルたちが圧倒的なオーラを放つのは、「人の気」が集まるところに頻繁に出向くからだという話も聞く。たとえばグランシップの大ホール。天井遥かな大空間は、ただそれだけで美しいが、それ以上のことは語らない。ところがそこが何千人という人々で埋め尽くされると、一転、パワーのつぼと化す。振り返ってみれば、世の中を動かすのはいつも人々の気が一点に集まったときだ。

震災後、「絆」や「結ぶ」といった言葉が目に残るようになった。「結び」は、万物の生みの神「産霊（むすひ）」が転じたもので、それは天地万物を創造し、発展、完成させる働きそのものである―そうした考え方が日本には古くからあった。さすればグランシップも静岡県の文化振興の結び目でありたいと願う。来春には文化芸術による震災復興の視点から、複数の催事を予定しているが、それらの働きかけが多くの人を結び、そうした「人の気」が新たな何かを生み、世の中を動かすパワーになることを期待したい。



エレベーターホール

ご利用についてのご案内

[申込受付]

9:00～20:00 ※開館時間／9:00～22:00

[申込方法]

電話または当財団窓口、ホームページ(会議室/定員100人未満・練習室のみ)にてお申し込み下さい。なお、予約受付を開始する月のお申し込みについては事前に「抽選申し込み」を受け付けています。〈詳しくは右記あてにお問い合わせを。〉

会議室(定員100人未満)・練習室のインターネット予約が可能になりました!

<https://www4.granship.or.jp/>

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054(203)5713 FAX 054(203)6710

公益財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

<http://www.granship.or.jp/>

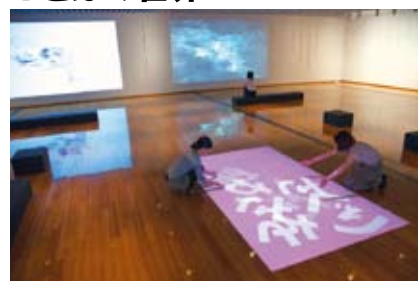
※利用時間／5:00～24:00

※利用にあたってはグランシップ利用サービス課窓口での利用者登録が必須となります。

平成26年5月から11月までの施設利用受付についてはグランシップホームページをご覧ください。

 **入場無料** 2/16^⑧・3/2^⑧

ことばの世界



展示イメージ

〈ことば〉って何だろう。聞く？ 見る？ 触る？
ことばや詩を新しい次元で体感できる展覧会。
■10:00～17:00 ■6階 展示ギャラリー
■入場無料 **→P10参照**

 **入場無料** 2/14^⑧・3/3^⑧

高松宮妃のおひなさま展



徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが、ご成婚の際にお持ちになった京雛を展示。細部まで精巧に作られた雛人形、調度品の数々で雅やかな春をご堪能ください。(今回より会場が3階へ変更になりました。)
■10:00～17:00 ■3階 共通ロビー ■入場無料

 **入場無料／事前申込制** 2/13^⑧

静岡ルネッサンス 「子どもたちが伝える昔ばなし」発表会



「龍巢院の竜」
東海道を通して東西の人々が行き交い、自然にも恵まれた静岡は民話・昔話の宝庫！今回は伊豆、賀茂地域に伝わる昔話を小学生が絵で表現し、そこに台詞や音響を加え、映像化して発表。次世代に伝えたいものがここにあります。
【出演者、曲目、演目】
下田市立稲穂小学校「龍巢院の竜」、下田市立下田小学校「姉妹富士」、河津町立南小学校「河童のかめ」、南伊豆町立南伊豆東小学校「鬼女の手形」
【監修】八木洋行(環境民俗学者・SBSラジオ「すっとなしずおか昔話」案内役)
■13:00～ ■会場／下田市民文化会館
■入場無料(要事前申込)

 **申込受付終了** 1/10^⑧

静岡ガスPRESENTS グランシップ&静岡 ニューイヤーコンサート

毎年大好評のニューイヤーコンサート。名曲の美しき音色が華麗に彩る、新年にふさわしい極上のひとときをお届け。
【出演】
スペシャルゲスト：中丸三千繪
指揮：篠崎靖男
管弦楽：静岡交響楽団
■14:00～19:00～
■中ホール・大地
■全席指定 1,000円(申込受付終了) 中丸三千繪



 **入場無料** 1/18^⑧・2/2^⑧

静岡の魅力 第7回フォトコンテスト 入賞作品展



第7回静岡の魅力部門 最優秀賞「竜神の舞」 薩川高宏
本コンテストの入賞作品を一堂に展示。「静岡の魅力部門」「自由・アート部門」の2つの部門から、新しい静岡の魅力に出会えます。審査員は大竹省二(写真家)、山本晋也(映画監督)ほか。
■10:00～17:00 ■6階 展示ギャラリー
■入場無料 **→P20～参照**

 **チケット発売中** 1/26^⑧

グランシップ静岡能



「胡蝶」
新春を華やかに彩る「グランシップ静岡能」。宝生流能楽師が今年度の「グランシップ伝統芸能シリーズ」のテーマに合わせ、四季をめぐる花々に関連した演目を上演！
【演目】能「胡蝶」「鉢木」ほか
【出演】宝生流能楽師
■14:00～ ■中ホール・大地
■全席指定 一般 5,000円 子ども・学生 1,000円

 **チケット発売中** 12/21^⑧・22^⑧

グランシップサポーター企画 グランシップ懐かしの映画会

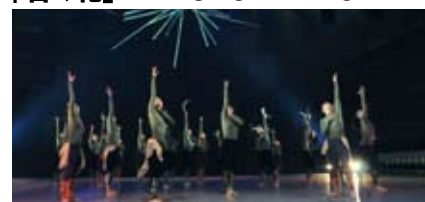
懐かし35mmフィルムで昭和映画の名作を堪能できる2日間。今回は、人間の善と悪、老と生を大胆な構成と躍動感あふれる演出で世界を魅了した黒澤明監督の4作品を上映。当時を懐かしむ世代も、新鮮に感じる世代も、今なお愛され続ける傑作をお楽しみに。
【上演作品】
21日(土) 10:00～「酔いどれ天使」
12:30～「生きる」
22日(日) 10:00～「羅生門」(デジタル復元版)
12:30～「天国と地獄」
■中ホール・大地
■全席自由 1日券 1,000円 2日セット券 1,500円
小中学生(1日) 500円
(WEB予約不可)



「羅生門」

 **チケット発売中** 12/23^⑧

グランシップ提携公演事業 KENKEN DANCE FACTORY 「石の花」THE STONE FLOWER



プロコフィエフ作曲のバレエ音楽「石の花」を題材に、番外編となるオリジナルダンス作品を創作。主人公の石工職人が女王に導かれた銅山の世界とは。
【構成・振付】伊與田知子
■15:00～ ■大ホール・海
■全席自由 2,000円 (WEB予約不可)

 **入場無料** 2014.1/1^⑧ (水・祝)

初日の出特別開放



過去の様子
元旦恒例！初日の出と世界文化遺産・富士山とともに、新年をグランシップの展望ロビーで迎えましょう。甘酒、おしるこなどのサービスも。(なくなり次第終了)
■6:30～ ■10階 展望ロビー ■入場無料



事前申込制

3/9[㊟]

第27回地域文化活動賞記念フォーラム ～文化・劇場が持つチカラを考える～



県内で活動する文化団体や文化施設の方を迎えた記念フォーラム。文化芸術や劇場について考えるほか、ネットワーク作りや情報交換の場として交流会も実施。

■14:00～ ■11階 会議ホール・風

■参加料 500円(表彰式は無料) →P16～参照



12/22日チケット発売開始

3/14[㊟]

グランシップ寄席 一語・縁一

丁寧な描写で人気の柳家さん喬が、3年ぶりにグランシップの舞台に登場! 東北に関わる演目も織り交ぜながら、日本の話芸の魅力をたっぷり聞かせます。“古典落語の名手”による珠玉の語りに、思わずホロリとなること間違いなし。



■18:30～ ■6階 交流ホール

■全席指定 一般 3,500円

こども・学生 1,000円 →P16～参照



12/22日チケット発売開始

3/16[㊟]

さくら能

観世流能楽師による能と、東北の伝統芸能を堪能できる特別公演。

【演目】「二人静」他

【出演】観世流能楽師



「二人静」

■14:00～ ■中ホール・大地

■全席指定 一般 3,500円

こども・学生 1,000円 →P16～参照

しずおかの文化新書15 「富士山の祭りと伝説」 関連企画【1月末発刊】

「しずおかの文化新書」編集長・八木洋行がコーディネーターを務める恒例企画。

講演会

■2月8日(土) 14:00～

■グランシップ9階 910会議室

■全席自由 800円 ※事前申込制

体感ツアー

■2月22日(土) ■行き先: 山梨県富士吉田市

※事前申込制



1/10金チケット発売開始

3/2[㊟]

グランシップ提携公演事業 佐藤典子同門会 佐藤典子プロデュースによる ダンス 舞踊公演 ～New Wave～

児童舞踊作品から舞踊芸術の最先端ダンスパフォーマンスまで、幅広い作品が登場。世界レベルで活躍中の男性プロダンサーをゲストに迎え、ダンスの魅力を満喫できる迫力のステージ!

【出演】佐藤典子舞踊団

佐藤典子同門会所属バレエ教室生徒



■17:30～ ■中ホール・大地

■大人 3,000円 こども・学生 1,500円(高校生以下)

〈WEB予約不可〉



1/19日チケット発売開始

3/8[㊟]・30[㊟]

ぼくたちの3年 ～写真展『生きる』から見えるもの～



Copyright ARITA Tsutomu



Copyright NOMACHI Kazuyoshi

日本写真家協会の「写真展『生きる』」を通して今の私たちは何を感じるのか。現在の被災地の様子なども紹介しながら、「あの日」と「これから」を考える展覧会。

■10:00～17:00 ■6階 展示ギャラリー

■入場料 500円

→P16～参照



チケット発売中

2/21[㊟]

うたさんしん ～琉球の宴～



沖縄の音楽にとっても切っても切り離せない、歌と三線。琉球王国時代より続く、魂ふるわす島国の音色を琉球舞踊と島唄に乗せてお届け。

■19:00～ ■6階 交流ホール

■全席指定 一般 3,000円 こども・学生 1,000円



事前申込制

2/23[㊟]

グランシップサポーター企画 グランシップ懐かしの映画会洋画劇場

好評の「グランシップ懐かしの映画会」に洋画が登場! 今も昔も、大人からこどもまで楽しめる不朽の名作2作品をお楽しみください。



「ローマの休日」

Copyright ©1953 Paramount Pictures Corporation. All Rights Reserved. TM, ® & Copyright © 2003 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.

【上演作品】

10:30～「オズの魔法使」 13:00～「ローマの休日」

■2階 映像ホール

■全席自由1作品につき

一般 500円 こども(3歳～中学生) 100円



事前申込制

2/25[㊟]

〈マタイ受難曲〉プレレクチャー

4/12(土)に開催予定の「パッハ・コレギウム・ジャパン／マタイ受難曲」の公演をより深く楽しむための事前レクチャー。バロック音楽に初めて触れる方にも分かりやすく解説!

【出演】解説・チェンパロ:

鈴木雅明 ほか



鈴木雅明

■19:00～ ■地下 リハーサル室

■全席自由 700円(要事前申込)

→P11～、P16～参照

「子どもたちが伝える昔ばなし」発表会、「グランシップ懐かしの映画会洋画劇場」
〈マタイ受難曲〉プレレクチャー、第27回地域文化活動賞記念フォーラム
しずおかの文化講演会、しずおかの文化体感ツアーの申込方法

電話・FAX・E-mailにて、下記宛申込を。FAX・E-mailの場合は参加希望のイベント名・住所・氏名・電話番号・参加人数を明記のこと。グランシップ〇〇係(希望するイベントいずれか明記)。※定員に達次第、締切。
TEL:054-289-9000 FAX:054-203-5716 E-mail:info@granship.or.jp

JUST FINISHED!



4.October.2013

『チョン・ミョンフン指揮
フランス国立フィルハーモニー管弦楽団』

終演後、中ホール・大地の楽屋にて。
チョン・ミョンフン氏と川勝平太静岡県知事と田村孝子館長

読者 Presents

直筆サイン入り
公演パンフレット、
文楽プログラムを
プレゼント!



10/4に開催した「チョン・ミョンフン指揮 フランス国立フィルハーモニー管弦楽団」
チョン・ミョンフン氏直筆サイン入り公演パンフレットを1名様に、10/13に開催した
「人形浄瑠璃 文楽」プログラムを2名様にプレゼント。添付のハガキに住所、氏名、
電話番号およびプレゼント名を明記の上、下記あてに郵送を。(平成26年2月末日
消印有効)なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係
TEL054-203-5714 ※30ページのハガキをご利用下さい。

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費(個人会員の初年度年会費は入会月により異なります。)

- ◆個人会員 年会費 2,000円 ◆法人特別会員 年会費 200,000円
◆法人一般会員 年会費 100,000円

〈チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可〉

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階
TEL.054(203)5714 FAX.054(203)5716

■特 典

- ◆チケット10%割引 ◆チケット先行予約
◆公演情報誌送付 ◆提携店割引
◆情報誌上、グランシップホームページ及び
グランシップ館内に社名掲載(法人会員特典)

〈友の会法人会員〉

静岡ガス株、株タミヤ、鈴与株、株静岡新聞社、静岡放送株、株劇団ひまわり、株ステージループ、静岡県ビルメンテナンス
協同組合、静岡信用金庫、株ピーエーシー、株テレビ静岡、株静岡第一テレビ、コカ・コーラ セントラルジャパン株、
株伊藤園、ダイドードリンコ株、株イノウエテクニカ、静岡エフエム放送株、株日本平ホテル、株コアズ、株静岡朝日テレビ、
公立大学法人静岡文化芸術大学、株天神屋、株望月商事、学校法人常葉学園、丸茂電機株、株創碧社、東京企画装飾株
静岡支店、株ニッセイコム、SUS株、株アイエイアイ

SPAC-静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4(グランシップ内) TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

『真夏の夜の夢』

A Midsummer Night's Dream

その恋、気のせい!? いいえ、木の精のしわざかも…
妖精、悪魔、人間の繰り広げる「祝祭音楽劇」!



写真撮影：三浦興一

新年早々、舞台の上はお祭り騒ぎ!
2011年初演はソールドアウト、
宮城聡演出による伝説的作品が
待望のロングラン公演で再び!

1/18± 15時開演	2/1± 15時開演	3/1± 15時開演
19日 14時開演	9日 16時開演	
25± 13時開演	15± 15時開演	
26日 14時開演	23日 14時開演	

静岡芸術劇場 (JR東静岡駅前グランシップ内)

上演時間: 2時間15分(途中休憩含む) 日本語上演/英語字幕

演出: 宮城 聡

作: ウィリアム・シェイクスピア 小田島雄志訳『夏の夜の夢』より

潤色: 野田秀樹 音楽: 棚川寛子 出演: SPAC

終演後には、アーティストトーク、
バックステージツアーなどもあります。
詳しくはSPAC公式サイトをご覧ください。

SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

静岡県舞台芸術センター

SPAC

検索

チケット
料金

一般 4,000円(一般大人1公演)
ペア割引、ゆうゆう割引、学割などの割引プランあり

◎静岡県内の小学生ご招待(1公演5名様まで)

ご予約・お問い合わせ

SPACチケットセンター TEL.054-202-3399 (10:00~18:00)

TOPIC-1

大迫力のステージに感動! 素晴らしい音色で幸せなひととき



10/4(金)、中ホール・大地にて「チョン・ミョンフン指揮 フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団」の演奏会が開催された。世界的指揮者と世界屈指のオーケストラの共演は、あっという間に会場全体を幸せな空気で包み込んだ。艶やかで色彩豊かな音色を披露し、静岡に思い入れのあるチョン・ミョンフン氏も大満足で会場を後にした。

TOPIC-2

豊かな個性に触れる
Wonderfulアート/NHKハート展

9/14(土)～29(日)まで、6階展示ギャラリーにて「Wonderfulアート/NHKハート展」が開催された。今年はアートにまつわるドキュメンタリー映画の上映会に加え、県内のダウン症児・者のダンスチーム7チームがパフォーマンスを披露した「Love Dance in しずおか」も開催。個性豊かな表現に触れる貴重な機会となった。

TOPIC-3

幽玄の美を堪能する、
グランシップ静岡能 能楽入門公演

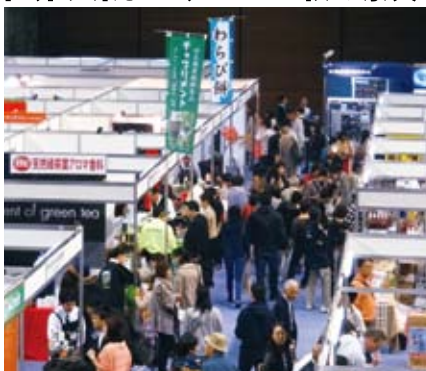
9/16(月・祝)、中ホール・大地にて「グランシップ静岡能 能楽入門公演」が開催された。台風の影響が当日まで残る中、500名余りが来場。一流の能楽師から3ヶ月間の指導を受けたお稽古生の謡・仕舞の発表、能楽師の解説・実演が行われた。上演した演目「井筒」をモチーフにスキの装飾が施されたロビーには、本物の能面を手取ることのできるコーナーも設置され大変好評だった。

TOPIC-4

本場の魅力たっぷり。
極上のロシア音楽を満喫

10/12(土)、中ホール・大地にて「ウラディーミル・ミーニン指揮 国立モスクワ合唱団」が開催された。日本人にも馴染み深いロシア民謡やオペラの名曲、日本の歌まで幅広い楽曲を披露。一人ひとりがソリスト級のテクニックを持つ合唱団の歌声が会場に響き渡ると、観客は興奮と感動に包まれていた。

TOPIC-5

世界のO-CHAを愉しむ4日間!
世界お茶まつり2013“秋の祭典”

11/7(木)～10(日)まで、世界お茶まつり2013“秋の祭典”が開催された。今回は「富士山」「茶草場農法」「和食文化」という世界遺産とお茶を一体的なテーマにした展示とシンポジウムのほか、新しい「O-CHA」の愉しみ方の提案、お茶の機能性・効用に関する最新情報など「茶の都しずおか」から国内外に向けて多彩なプログラムを発信。29か国から約101,500人が参加し、お茶の魅力を楽しんでいた。

TOPIC-6

静岡県が舞台の演目も!
人形浄瑠璃 文楽

10/13(日)、「人形浄瑠璃 文楽」が中ホール・大地で開催された。県内で唯一文楽を鑑賞できる機会ということで年々ファンも増加。ロビーでは人形がお客様をお迎えし、演目に関連した「朝顔」による装飾もあって華やかな雰囲気となった。島田や大井川など県内の地域が舞台の演目に、はじめての方も親しみをもって伝統芸能を楽しんだ。

TOPIC-7

草原の組曲～素朴であたたかい
馬頭琴の調べ～

11/23(土・祝)、静岡県とモンゴル・ドルノゴビ県との友好提携2周年を機にモンゴル国立民族歌舞団出身のメンバーで作られた「アルガ・ビレグ」の公演が開催された。会場内には静岡県がモンゴルから譲り受けたゲル(移動式住居)も設置され、ジャズの要素を取り入れた馬頭琴などの演奏や、モンゴルの軟体アクロバットなどが披露された。ロビーではモンゴルのおみやげコーナーやモンゴルのスーティー茶もふるまわれ、来場者はモンゴルの雰囲気をたっぷり味わった時間となった。

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

「グランシップアートコンペ2013」入賞作品の展示第3弾。巨大な鳥と家、小さな人々と動物が全てを包み込んで 温かな気持ちにさせる。グランシップの前を行きかう親子を、若者を、ビジネスマンを、老夫婦を、幸せな夢の世界へ案内する。遠くからでも近くからでも何度見ても楽しい空間。
※12月8日(日)まで展示しました。



タイトル／「昨日みた夢」
制作／Iemoco-layco(レモコーレイコ)

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER's VIEW

出逢いに感謝

第13期サポーター イベント業務担当 望月加代子

「退職したらボランティア」、が口癖だった私に友人達は、「年寄りのボランティアは要らないよ」と言っていたけど、幸運かな、グランシップでの「国民文化祭」のボランティアへの参加から一歩を踏み出し、グランシップサポーターへの参加は現在4年目となった。

地域のS型デイサービス、市社協の依頼で書道のボランティア、中央展への書作品と、慌ただしい日々なれど、月数回のグランシップ通いが私の生き甲斐のひとつとなってきた。

書の師は、県からの要請で訪問団長をして大勢の書作家と、度々中国・浙江省を訪れている。昨年4月、浙江省友好提携イベントで、訪問団400人を含む約700名がグランシップに来られ、偶然にも招待客の師を案内し「良かったよ」の笑みが忘れられない。

師の如く、お客様に満足してお帰り頂く為に微力を尽くし、また、公演中のあの何とも言えぬ緊張感に、いつの間にかハマっている自分がいる。考えてみたら、劇場という空間で、お客様と共有出来る「刻」を味わえる事は、サポーター冥利に尽きると感謝するのみである。



Report 062

READER'S VIEW

●息子が中学生になったので、スペシャル企画をとっても興味深く読みました。多感な10代なればこそ、このような催しがあることはありがたいです。中学生のための音楽会は、息子の中学は行かないので残念です。曲目も良いです。学校単位ではなく、各家庭からも申し込める「中学生のための音楽会コンサート」があると嬉しいです。

〈岡崎市・杉浦千賀代さん〉

●写真もきれいで大変品のある読み物だと思いました。読みこたえもあり、車内でずーっと読んでいて、夫に「さっきから真剣だね」と言われ、少々夫に退屈させてしまった程、集中して読めた面白く役立っものでした。今後ほとんど読んでみたいのです。自分の価値が上昇していくような感じがします。

〈岡崎市・杉浦千賀代さん〉

●マーチングバンドの演奏会やパストワールリングなどのバンドさばきによる迫力ある演技など、めったに見ることができないので、こうした企画を何回かやっていただければいいなと思っています。静岡県出身の有名人などの懐かしのオリジナルグッズやレコードやCDなどの展示会やプレミアム商品などを販売できるコーナーが設けられたら素敵ですね。

〈浜松市・T・Hさん〉

●グランシップの良さは、劇場体験を中高生諸君にもすすめているところ、また音楽、文楽、歌舞伎等々幅広く取り組んでいるところだと思います。

〈西尾市・鈴木智さん〉

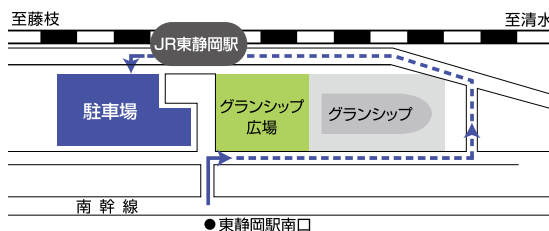
★グランシップおよび本誌「G」に関する「意見、感想、お問い合わせなど、皆さまからの便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room.....

去年、長年待ち望まれていた、劇場、音楽堂等公共の文化施設のための法律が成立しました。そして、今年の3月29日にこの法律に基づいた「指針」も定められました。グランシップのような公共の文化施設が「誰のため」「何のため」の施設なのか、施設の設置者と運営者は明確な方針を持って取り組み、「地域の文化拠点」となることが義務づけられたのです。そして、図書館に「図書館法」があり、国家資格の専門家である司書がいるように、美術館、博物館に「博物館法」があり、国家資格のある専門家の学芸員が存在するように、劇場、音楽堂等の公共文化施設の専門人材の育成と配置が、法律の下にやっと求められるようになったのです。そんな専門家が国家資格を持つようになるのは未だ先のことと思いますが、グランシップでは、この11月に県内の公共文化施設の職員のために日本舞台技術者連盟による研修と資格試験を実施しました。マイクスタンドの組み立て、照明器具の設置、ケーブルの巻き方、そして最後には出演者のように舞台上に登場、話すなど、普段は全く経験のない舞台技術のワークショップに真剣に取り組んだ2日間でした。30名余りの受講者は無事全員試験に合格。劇場、音楽堂等の専門家としての一歩を踏み出しました。各地の文化振興のため、ひいては日本の舞台芸術の向上のために、これからは、このような専門家に優秀な人材が存在することが何より求められるのではないのでしょうか。

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、
混雑緩和のため、
公共交通機関をご利用ください。



●ACCESS / JR東静岡駅南口隣接。東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間。大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。

契約数^{※1}
No.1
だから

かけ放題の
仲間が
いっぱい!^{※2}

みんなで
ドコモに乗りかえだ!

天下分け目の 大還元



※1
契約数日本一の
ドコモを選ぶのだ!

出世大名 家康くん
(はままつ 福市長)

©浜松市

ドコモへのお乗りかえでのおトク!

**静岡
限定**

静岡に**福**を呼ぶ! お乗りかえでプレゼント!

ハズレくじなしで、もれなく! ※静岡県内のドコモショップ、一部量販店での実施となります

1等 (静岡県内合計
1,500名様)

スクラッチで1等が出たら!
QUOカード1,000円券

2等

docomo×家康くん
オリジナル携帯クリーナー付
スタンド

※予定数量が無くなり次第終了



※1 2013年9月末現在、携帯電話・PHS事業者別契約数による
※2 タイプXi にねん/タイプXiとXiカケ・ホータイを組み合わせでご利用いただくことで、ドコモ携帯電話同士の国内音声通話が24時間いつでも定額になります。(一部対象外があります。)

●詳しくは店舗スタッフにお問い合わせください

私たちは ついに、静岡ガスの ぽかぽかプランを 知ってしまった!!

ぽかぽかプランの
料金は、
灯油並みの低燃費!!



でも、
ガス栓が
ない
のよね...

1,976円
18ℓ

VS

1,808円
18ℓ

灯油
(資源エネルギー庁石油製品
価格調査、静岡県配達価格)
※灯油販売店により実勢価格は
異なります。

都市ガス
(都市ガス(天然ガス)の持つ
熱量を灯油熱量に等価換算)
※「長時間使用量」部分の都市ガス価格です。
※別途基本料金(210円)がかかります。

平成25年1月～6月の平均価格になります。

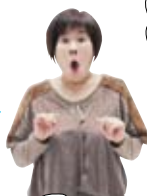


ガス暖房は
節電にも
なりますね!

思ったより
「ガス栓は簡単に
設置」できる
みたいだよ!



とっても
カイテキ、
安心なんです!



ガス暖房は、
パワフル &
スピーディー!!
しかも、
給油の手間いらず!



やだ、もっと
早く言ってよ..



ぽかぽかプランはガス暖房機器を
ご利用いただくお客さまのための
冬期(11月～4月)限定の割安プランです。



ぽかぽかプラン

検索

詳しくは、静岡ガス各支社または、
お近くのエネリアまでお問い合わせください。



ガス温水床暖房



浴室暖房乾燥機

をご使用のお客さまも、ぽかぽかプランをご契約いただけます。

くらしを考え、明日をつくる。

SHIZGAS

静岡ガス

静岡支社 静岡市駿河区池田28
TEL.054-285-2111

富士支社 富士市荒田島町10-52
TEL.0545-52-2260

東部支社 沼津市岡一色809
TEL.055-927-2811



GRANSHIP
静岡県コンベンションアーツセンター

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716
http://www.granship.or.jp